

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	ふじみ野市生きがい学習推進計画審議会第1回 審議会会議			
開催日時	令和5年5月30日(火) 開会時刻 午後9時30分 閉会時刻 午後11時30分			
開催場所	本庁舎A302会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	大久保昭男	委員	岩城英隆
	副会長	神木重浩	委員	石橋 裕
	委員	朴 淳香	委員	大川 正
	委員	塩野悦子	委員	松本健司
	委員	村田真人		
会議の議題	(1) ふじみ野市生きがい学習推進計画の進捗報告について (2) 市民アンケート及び団体アンケートの報告について (3) 第2期ふじみ野市生きがい学習推進計画の体系について			
会議の公開又は非公開の別	公開←非公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	資料1 ふじみ野市生きがい学習推進計画審議会委員名簿 資料2 ふじみ野市生きがい学習推進計画の進捗管理表 資料3-1 アンケート調査結果報告書 資料3-2 市民アンケート指標項目抜粋 資料3-3 市民アンケート調査等から見える課題 資料4 ふじみ野市第2期生きがい学習推進計画の体系(案)			

事務局		市民活動推進部協働推進課
議事の確定	確定年月日	令和5年6月30日
	記名押印 又は署名	役職名 ふじみ野市生きがい計画推進計画審議会 会長 大久保 昭男 ⑩ ※自署の場合は、押印不要です。

別紙

発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局	1 開 会
大久保会長	2 挨拶 《会長挨拶》
大久保会長	3 議事 議題(1)ふじみ野市生きがい学習推進計画の進捗報告について、事務局からの説明をお願いします。
事務局	《ふじみ野市生きがい学習推進計画の進捗管理表の説明》
大久保会長	事務局から、ふじみ野市生きがい学習推進計画の進捗状況について説明がありました。ただ今の説明について、ご質問等ありましたらお受けしたいと思います。
村田委員	アフターコロナの中、参加者が減っている中でどのように市が周知をできるのでしょうか。人員を割くことができるのでしょうか。市の構想があると思いますが、どの部分に集中していくべきかについて、少し考えていく必要があるのではないかと思います。
事務局	情報の提供に対して、市は情報媒体を持っています。有効な情報提供方法を研究して実践に繋げていきたいと考えています。
大久保会長	アンケート結果をみると、施設を利用している人たちの理解度は高かったですが、関わっていない人たちの認知度が低くなっていました。いろいろ努力をしても、受け手側の課題もあります。ぜひ、そういった角度からの審議もお願いできればと思っています。
石橋委員	進捗管理表について、各部署はアンケート結果の内容を見て書いたものなのでしょうか。それよりも前の段階で書いたものなのでしょうか。

事務局	<p>アンケート結果を共有する前のものとなっています。</p> <p>令和2年度の実績でみると、新型コロナウイルスの影響により、事業の縮小や中止せざるを得ない状況と回答がありました。その中で各課も工夫しながら、今まで対面だけだったものをオンラインと同時、いわゆるハイブリッド式でオンライン参加ができる体制を整えています。本年度以降も、こうした形での取り組みを考えていると思います。</p>
塩野委員	<p>オンラインを併用して進めていく中で、ネットに関する事が難しいという人はいます。オンラインによる取り組みを進めるとともに従前の取り組みも同時に考えていく必要があると思います。</p>
神木委員	<p>タウンミーティングでは、ふじみ野市のデジタル化等について質問が出たようです。一部の人に限られた情報提供よりも、幅広い世代の住民が情報を受け取れるようなシステムをデジタル化とともに継続していかないと、提供いただいた情報が無駄になってしまうと思う。</p>
塩野委員	<p>できない人たちを取りこぼさないための施策を作った方がいいのではないのでしょうか。</p>
大川委員	<p>このアンケート結果は、各課と共有しているのでしょうか。それともこれから共有していくのでしょうか。</p>
事務局	<p>庁内検討委員会を19日に開催しており、そこでアンケート結果の報告を行っています。委員は各課の課長レベルが出席している委員会となっています。</p>
大久保会長	<p>議題(2) 市民アンケート及び団体アンケートの報告について、事務局からの説明をお願いします。</p>
事務局	<p>では、議題「(2) 市民アンケート及び団体アンケートの報告について」に移ります。資料3-1に沿って、事務局より説明いたします。</p> <p>アンケートは、18歳以上の市民、施設を利用する団体、自治組織及びPTAを対象に行いました。</p> <p>令和5年1月から配布し、市民アンケートは令和5年1月3</p>

<p>大久保会長</p>	<p>1日まで、施設利用団体及び自治組織及びPTAは令和5年2月10日までを回答期限としました。アンケート結果については、委託業者であるNext-i株式会社の西村さんより説明いたします。</p> <p>「市民アンケート及び団体アンケートの報告」 「市民アンケート指標項目」について説明</p> <p>アンケート結果の中から抜粋して説明をしていただきました。調査から見える課題をまとめていただきましたのでこれらを参考に質疑をお願いします。</p>
<p>神木副会長</p>	<p>自治組織・PTAの調査に関して、自治組織の回答率が気になります。それぞれの回答率を出せるようでしたら、教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の会議までに、確認してお知らせします。</p>
<p>石橋委員</p>	<p>オンライン学習について、これからオンラインによるものが非常に重要になり、様々な場面でそれを使わなければならない時代に入ること間違いのないと思います。オンラインの良さを生かすのはすごく大事ですが、そこと実体験とのリンク、例えばICTで楽器の弾き方や歌い方といった情報がたくさん出ていますし、アーカイブもあります。一番肝心の合奏する喜び、お互いの音や息遣いを感じながら自分の音楽を出す、具体的な実体験と結び付けていかないと、まずい時代に入ったと思っています。この部分を施策の中で結び付けていくことが大事ではないかと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>協働推進課が展開している事業のなかに、こども大学ふじみ野という取組みがあります。こちらでは、令和3年度にZoomを活用したオンライン講座を実施しました。令和4年度もオンラインの継続も考えていましたが、実体験が必要という中で、文京学院大学、東入間青年会議所、ふじみ野市が連携してイオンタウンなどでの体験を計画・実施した実績があります。今年度も、文京学院大学と調整しながら、様々な事業ができるような施策展開を検討しています。</p>

大川委員	<p>今回のアンケートの回収率が、前回よりも下がってしまっている。年齢、性別に関してはそれほど偏りがみられないので、アンケートの結果として、いろんな世代から回答がいただけているように思います。回収率をもう少し上げるための施策、課題は何かあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>前回の調査時、未回答者へお礼状兼回答のお願いを出したところ回収率が上がったことから、今回も同じ形で実施し、前回ほどではなかったのですが回収率は上がりました。また、突出した数字ではないのですが、Webによる回答をできるようにしました。仮に、Web回答がなかった場合、その分の回収は少なくなっていたと思っています。</p>
大久保会長	<p>前回調査は、団体調査という形でやっていて、今回は自治組織・PTA、施設利用者と分けています。全部をトータルで見ると、前回よりは多く回答いただけているのかなと感じる。なかでも自治組織とPTAの回収率は高いことから、それだけ問題意識があるとも読み取れます。</p>
大川委員	<p>施設利用者の回答はもう少しあってもよかった。</p>
岩城委員	<p>事前に、アンケートの実施についてPRがあってもよかった。</p>
事務局	<p>施設利用団体調査では、施設管理者に協力いただいて実施しました。今回、小中学校の体育館や校庭を使っている団体に対して、月次の会議の時に説明に行きお願いをしています。ただ、同じ時期に施設管理者が実施するアンケートを行っている施設もあったようなので、混同してしまった団体がないとは言えない状況です。</p>
大久保会長	<p>「あなたは地域にどのような課題があると思いますか」の設問に対して、前回調査から環境に関する事の割合が増えています。高齢社会や子育てに関する所はむしろ下がっています。これは市民のどういう反応なのか気になります。今後の施策にも関係してきます。背景にあるものについて、考えていく必要があると思いました。</p>

大川委員	<p>市の施設利用に関して、高齢の方たちに偏っていて、仕事をしている人たちに対して、条件が整っていないのではないのでしょうか。例えば、図書館は昔、早く閉館する、月曜休館が多かったですが、それが変わって、夜８時まで利用できるなど、それで助かっている人は多いと思います。講座に関する要望は非常に高く、それを夜間に実施することについて、行政としてどのように考えているのでしょうか。そのあたりを改善すると、無関心層の掘り起こしにも繋がると思います。</p>
事務局	<p>審議会の多くは、平日のこういった時間をお願いしているところもある中、他課では夕方や夜間に開催しているところもあります。</p> <p>保健センターでは、パパママセミナーなどを開催していたのですが、平日参加が難しい方たちが参加できるよう、土日に開催していました。すべての事業ではないですが、ニーズと職員の体制を整えた上で考えていく必要はあると思います。</p>
朴委員	<p>実際の利用は年齢層が高い人たちに偏っていて、３０～４０代は仕事と育児が忙しくてそれどころではないというような意見がありました。今回の調査で少し見えてきたのが、個人で利用できる施設があると良いと思いました。自治体が運営していく事業は、組織への参画という部分もあると思うので、団体がペースにあるのですが、「今日、ちょっと行けそう」と思った時に個別に利用できるというのではないかと思いました。</p>
事務局	<p>団体のみの利用と団体と個人の両方が利用できる施設があります。施設の特性もありますので、その部分を統一するのは難しいところではあります。個人でも利用できる、空いていればすぐ利用できるという部分の広報をしていく必要はあると思いました。</p>
大久保会長	<p>市の取り組みに関して、重要視したいこともしっかり答えてもらっています。なかでも、学びをサポートする取組の充実や学びの環境づくりについて、市民の反応を施策に反映していかなければと思っています。</p>
石橋委員	<p>生きがい学習に取り組む目的の部分で、７０歳代、８０歳代は健康や体力づくりの割合が多く、働く世代は資格取得の割合</p>

	<p>が高くなっていて求めるものが大きく違っています。この部分と人と人とのつながり、市民の生きがい等三つ巴になっていくように思います。中でも、20～30歳代はリカレントやリスクリングなどいろいろあるなか、大きく変わっています。この部分は国の施策や企業との関連もあるので、難しいところもありますが、施策としての方向性は何かあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>これまで高齢者の施策は充実してきていると思いますが、働く世代、時間が無いという理由の中で、どういう提案ができるのかが大きな課題と思っています。</p>
松本委員	<p>大井西中学校の近くでは、高齢者の一人住まいが増えています。そして、町会に入っていないので情報がなかなか入りません。10年ほど前から、一人住まいの人を呼び集めて、グラウンドゴルフをやっています。場所の予約をお願いしたら、インターネットを利用できない人が多くいました。こういう人に対する情報の入手方法について考えてもらいたい。</p>
事務局	<p>市としてすべての人に同じ情報を同じ時期に届けるのが、本来の責務と思っていますが、孤立した状態にある人たちがいることも認識しています。各課の取り組みについても、新しい取り組みだけではなく、弾力的な運用も含めて、これまでのやり方だけではなく新しいやり方を一緒に考えるとともに、それだけでこぼれ落ちてしまう人たちをフォローする事も、やはり各課で考えていかなければいけない、必要な課題と認識しています。</p>
塩野委員	<p>デジタルに関して、一本柱を立ち上げて進めていかないと格差はどんどん大きくなると思います。市民大学や出張講座を活用して、どんどん外に出ていかなくてははいけない。遅れというのは仕方のない部分がありますが、1人暮らしの人たちのために少しでも楽しいことを経験できる市にしていかないと。この先、1人暮らしの人は多くなっていくと思います。ふじみ野市は若い人たちが増えていることもあり、お金のある市だと思っています。今は、企業を誘致し、起業の研究結果を市に反映してもらおう時代だと思っています。</p>
大久保会長	<p>デジタル化は待ったなしでどんどん進んでいきます。高齢者</p>

<p>神木副会長</p>	<p>だから仕方がないではなく、地域としてそれをどう受け止め、支援できるのかというところに課題があると感じました。</p> <p>自治組織の代表として、危機管理防災課からの依頼で要支援者名簿の作成をしています。私のところの自治会では、町会を4つの班に分けて、要支援者の自宅地図と名簿、障がいの程度を本人の承諾のもとで作成して、万が一災害が起きた場合、救助支援に向かう体制を整えています。</p> <p>松本委員の話にでてきた、元気な一人暮らしの高齢者に関する名簿はない。このような人たちの名簿があれば、少し違ってくると思いました。</p>
<p>岩城委員</p>	<p>私たちの自治会は少し特殊で、URの住人がほとんどです。専用の掲示板があるのですが、イベントや祭りに関する掲示ができませんでした。URに申し入れて掲示ができるようにしました。自治会に関する情報が主ではありますが、自治会会員以外の人たちにも情報が入るようになりました。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>議題(2) 市民アンケート及び団体アンケートの報告に関する質疑は以上でよろしいでしょうか。</p> <p>では、議題「(3) 第2期ふじみ野市生きがい学習推進計画の体系について」に移ります。事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>第2期計画の施策体系について、説明差し上げます。資料4をお手元にご用意ください。</p> <p>「ふじみ野市第2期生きがい学習推進計画の体系（案）の説明」</p>
<p>大久保会長</p>	<p>従来計画より、体系、位置づけが変わってくるという説明でした。この件について、質疑をお願いします。</p>
<p>大川委員</p>	<p>学びに関する情報提供体制の充実について、調査結果を見ても情報提供が非常に重要、中でも広報で情報を得ることが多いと圧倒的でした。ただ、市のHPをみると各課のページに行かないと情報が分からないことが多いです。その部分をどこかでまとめて提示する方法はないのか。この部分は結構課題だと思</p>

	<p>っています。</p> <p>もうひとつ、公共施設予約サービスの充実と利用促進に関して、かなり予算はかかると思うのですが、施設の情報を一括管理して入力できる、オンラインでつながったものがあればかなりの部分が解消されると思います。何年がかりになってしまうかもしれませんが、こういったものを構築していくのも大切だと感じています。</p>
大久保会長	<p>確かに、ホームページを見て応募と言われても、そこに行きつくまでが大変なことがあります。協働推進課で連携を取って、各課の取り組みが一覧で分かるとわかりやすいです。</p>
事務局	<p>見やすさは重視しなければと思います。自己満足的に各課の取り組みを上げるのではなく、見やすければその講座への参加率も増えていくと思います。</p>
神木副会長	<p>個人的な話になってしまうのですが、30年間、小学生の子どもたちにサッカーの指導をしています。西地区にあるスポーツセンター多目的グラウンドは人工芝の良い施設なのですが、ナイター設備がないので17時で施設開放が終わってしまいます。ナイター設備があれば、中学生や高校生、大人たちの利用を増やせる。これは非常にもったいない状態。設備投資はかかりますが、利用料金は入ってくるので、長い目で見ればメリットが多いと感じています。意見として話をさせていただきました。</p>
大久保会長	<p>施設の利用について、利用者にとって手軽に施設を利用できること、手続きの簡便性が高いことは求められると思います。そのための方法、仕組みづくりをどうしていくのかが課題になってくると思います。なかなか予約が取れない、だから活動できないというのも課題ですね。</p> <p>示していただいた体系案について、今後、庁内検討委員会等での議論が進んでいくと思います。今回の策定にあたり、体系が変わっていきませんがこのあたりの理解はいかがでしょうか。</p> <p>第2期の体系について、この方向で進めていただくことでよろしいでしょうか。</p> <p>次回の会議では、施策や取り組みについてもまとめられた体系を提案いただけるとのことですので、よろしくお願ひしたいと</p>

事務局	<p>思います。</p> <p>それでは、予定した議案がすべて終了しましたので、事務局にお返ししたいと思います。</p> <p>次回の協議会は、9月27日水曜日の13時半を予定しております。開催通知につきましては、改めてご連絡させていただきます。</p> <p>先ほど会長からお話がありましたように、計画の体系につきまして、本日審議いただいた内容やアンケートの結果からみえた課題、市民の方たちのニーズを踏まえて検討し、各課との調整を行っていきます。改めて次回、ご審議いただきたいと思います。</p> <p>以上で、令和5年度第1回生きがい学習推進協議会を終了いたします。</p> <p>4. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	---